

整形外科だより

8・9月号

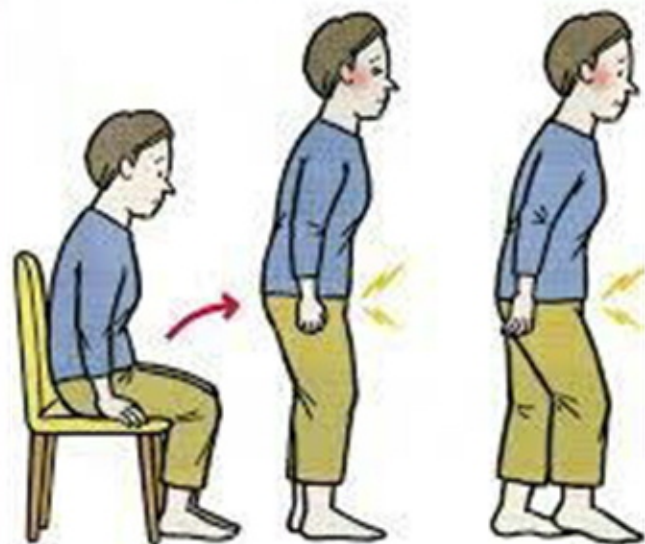
変形性股関節症 No.1



症状

主な症状は、歩行時の脚のつけ根の痛みです。症状が進むと変形が生じ、股関節の動きも制限され、靴下履きや和式トイレが困難になります。

初期



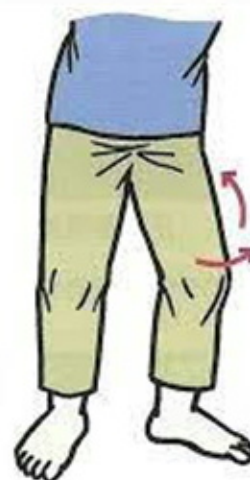
立ち上がり、歩き始めに脚の付け根の痛みが生じ、歩いていると軽快していきます。

中期



歩行時や動作中に痛みが強くなり、靴下履き、足の爪切り、正座や和式トイレなどが困難になります。

後期



足の付け根が伸びなくなり、膝頭が外を向くようになります。また、左右の足の長さも違ってきます。

原因

先天性股関節脱臼の後遺症や股関節の形成不全、外傷が主なものです。気になる方は、一度整形外科の受診をお勧めします。次号は予防と治療についてお話しします。

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

◎中藤先生は検診のため13:15~14:45まで不在です

◎関先生は休診です (8/25)

